



入賞作品の製品化

商品企画開発部のメンバーが、コンテスト入賞作品から商品化して販売するものを選び、使い勝手などを考慮して改良し製品化しました。また、ユニーの品質基準をクリアするために生産段階での指導、品質表示のために検査機関での検査を行いました。

バッグの改良



住関本部
商品企画開発部
菅野誠一

レベルの高い応募作品が多く、入賞作品を選ぶのに大変苦労いたしました。その中でも、入選作品の「エコバッグ」はデザイン性・機能性に優れ、また環境配慮といった視点も考慮し、選定をいたしました。商品化にあたっては次のような課題があり、一部仕様変更をいたしました。①ポーチ部が底にくるため強度が弱く、重たいものが入れない②ファスナー部の縫製の難易度③入賞作の生地が大量に手配できなかった。以上のような点で若干変更にはなりましたが、販売時は大変好評で人気商品のひとつでした。



受賞作品



販売商品

授産施設に生産をお願い

授産所に通う障がい者の方に仕事をする機会を創り出し、公正な対価を支払うことで、自らの力で暮らしを向上させ、自立するよう支援します。素材の提供や製品の販売先が決まっているので、収入を確保することができます。商品のデザインや販売などを企業が協力することにより商品価値や品質が向上し、販売が拡大できます。

また、このプロジェクトがメディアや店舗で紹介されたことにより、社会において授産所に対する理解や関心が高まりました。(参加授産施設／社会福祉法人大森福祉会 大森授産所、社会福祉法人名古屋身体障害者福祉連合会、身体障害者通所授産施設 名身連第一ワークス)



作業風景

メディアに取り上げられました



中日新聞



織研新聞



日経デザイン

「授産所」とはどんなところ？

授産所とは、障がいをお持ちの方が、働くなどいろいろな活動を通して社会参加し、自立を目指して訓練するところです。名古屋市では障がい者手帳を持っている方が利用しています。仕事は、企業からの下請け作業を主とし、自主製品を作って販売もしています。ここからの収入だけで生活することはなかなか難しく、より多くの収入が得られる仕事を創り出すことが課題です。



大森授産所主任
柴田浩二さん

各地にあるアピタ店舗にて販売

入賞作品を製品化し、授産施設で生産する期間を考慮し、販売をクリスマスシーズンにしました。11月21日から12月25日までの期間、各地区の販売力のある大型店舗の専用売り場で販売しました。

販売店舗：

- アピタ長津田店（神奈川県）
- アピタ福井大和田店（福井県）
- アピタ千代田橋店（愛知県）
- ピオニウォーク東松山（埼玉県）
- アピタ富山東店（富山県）
- アクアウォーク大垣（岐阜県）
- プレ葉ウォーク浜北（静岡県）
- エアポートウォーク名古屋（愛知県）
- アピタ松任店（石川県）
- リーフウォーク稲沢（愛知県）



アピタ千代田橋店

●プロジェクトの運営は、プランニングオフィス・ラグーンの協力で行いました

Re DESIGN PROJECT を運営するにあたり

Re（再）の心を大切にデザイン学生の皆様、繊維企業&組合、授産施設の皆様の共創から生まれる「人と自然にやさしい商品」作りが3年目をむかえ、多くのアピタ店頭で販売されました。このプロジェクトはこれまでの生産・販売・消費といった、企業生産社と消費者の関係から、購入することでRe（再）の活動に参加できる、生活者参加型ブランドや商品としての新しい可能性を示唆したものです。



プランニングオフィス・ラグーン 代表取締役 浅野健一さん

AJU自立の家「ピア名古屋ワイン」へ売り場を提供し支援

ピア名古屋は、知的障がい者の授産施設です。岐阜県多治見市の修道院で栽培したブドウからワインを醸造し、販売することを目指しています。また、世界の修道院で自家醸造したワインを直接仕入れて販売も行っています。ユニーは多治見市近隣の販売力のある大型店舗で、定番商品として「ピア名古屋ワイン」を販売し、ピア名古屋を応援しています。



ピア名古屋のメンバー



エコ博会場での販売



商品